

SOFTIC 判例ゼミ 2019/10/25 (第3回) 担当者所感 (石橋)

フェアユースという、今まであまりなじみがなかった分野の米国裁判例でしたが、事案に沿った検討を行うことにより、抽象的だった各ファクターについての理解が深まりました。ご指導いただいた石新先生、上沼先生、特別参加の奥邨先生からは、それぞれ興味深くかつ貴重なコメントを頂戴しました。今回の事例の判断に対して、ゼミ生は控訴審支持で意見がほぼ一致したことから、地裁の判断はかなり異例だったのではないかと意を強くしました。とはいえ、ソニー事件と Campbell 事件に対しての最高裁判事の意見の割れ方に関する石新先生のコメントからは、現在の日本人の常識的な感覚だけでフェアユースを判断するのが難しいことも理解できました。